

自他を知る

少人数のゲームの中で他者の考えや思いを知り、人と関わる楽しさを実感し、他者と協力して何かをやり遂げる経験を積み重ねていきます。

H29～R元年度（和太鼓集団「渦」さんによるレッスン）



和太鼓の練習

集団ゲーム

みんなで息を合わせて太鼓をたたきます。協調性やコミュニケーション力、情操の育成、体力をつける等「自立活動」の内容がすべて含まれた有効的な活動です。

他者の行動や考えがわかれば、協力していくことができます。



病弱教育部

〈研究テーマ〉 ～kitto～きっと
自立と社会参加に向けた自立活動

目指す児童生徒像

豊かな心を持ち 人との関わりを広げ
自分らしく活動する児童生徒

アクチウォッチを使って自分の睡眠の状態を測定します。



病識・こころとからだ

自分の病気のことについて知り、病気との付き合い方を学んだり、自分がどのような考え方や行動をしていくとよいのかを考えてストレスマネジメントにつなげます。また自立活動では自分の好きな活動をすることで心の安定を図ったり、それを楽しみに登校できることを目指します。



呼吸法を試みた後、唾液アミラーゼの数値を測り、ストレスホルモンが下がったことが、数値で見てわかります。

H30年度 京都府「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」
京都大学博士 ストレスマネジメント教育研究者 奥野元子氏



病識学習

体調不良やストレスについて知ろう



眠るってどういうこと？

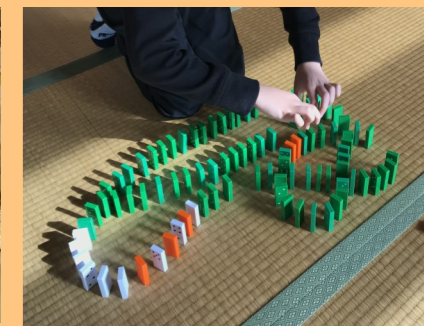


H29～R元年度 京都府「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」
H29～R元年度「アクチウォッチを使って自分の睡眠の状態を知る取組」
京都大学大学院 医学研究科 若村智子 教授

睡眠のメカニズムを知り、自分の脈拍、体温、睡眠時間の計測を通して自分の生活を見直し、生活リズムを整えることにつなげていきます。

生活リズムを整える

興味を持って取り組める楽しい活動を用意しています。



病弱通級指導教室→病弱教育部中学部

小学4年から不登校。小学6年の3学期から通室しました。本人が興味を示した折り紙などの工作をするうちに、学校に通ってみようという気持ちが生まれ、体験登校を経て、中学1年の1学期に本校病弱教育部に転入しました。学校では、自立活動中心の学習を行い、安定して毎日登校できました。

病弱通級指導教室に継続して通室

小学3年生から不登校。一時は昼夜逆転して外に出られない時期もありました。本人が興味関心を示す活動を準備し、通室につながりました。最近ではドミノ倒しやボードゲームを指導者と一緒楽しむことで、コミュニケーション力の育成につなげ、自己肯定感の高まりも見られるようになってきています。

本校通級指導教室で力をつけ、地域の小・中学校や適応指導教室で、学校生活が送れることをねらいとしています。

通級指導教室